

KHOO SWEE CHIOW

First South East Asian to climb the Seven Summits

LONDON
SPEAKER
BUREAU



Topics

- Adventure
- Asia
- Motivation

Khoo Swee Chiowは1998年にエベレスト山に登りました。1999年に、彼は57日間で1,125kmの距離をカバーして南極までスキーをしました。2000年に、彼は7つのサミットを完了し、この偉業を達成するために第1回東南アジアになりました。セブンサミットは、世界の7大陸のそれぞれで最も高い山です。2001年に、彼は酸素の援助なしでチベットのShishapangma(8027メートル)に登りました。

シンガポール航空のIT部門で6年間勤務した後、2001年1月にSwee Chiowはノースポールへのスキーを試みるために仕事を辞めました。しかし彼は9日後に凍傷を負ったために任務を中止しなければなりませんでした。簡単にあきらめる人ではなく、彼は翌年に2度目の試みをしました。45日後、彼は北極点に着きました。彼は今では東南アジア第1回、そして世界で4人目の人、すなわちThe Sventure Grand Slam(すなわちSouth Pole North PoleそしてSeven Summits)です。

2002年5月に北極から戻ったとき、彼は2度目のスポーツと冒険のシンガポールユース賞を受賞しました。2003年9月にSwee Chiowはシンガポールから73日間で8066km走行し、北京に到着しました。これは、継続的な学習と限界に立ち向かうことへの彼の熱意を示している偉業です。

Swee Chiowは、遠征の計画、編成、およびトレーニングのほかに、学校から政府機関、企業、および非営利団体まで、幅広い聴衆にやる気を起こさせる講演を行います。彼はまた、知的障害児、エイズ対策、その他の慈善団体への募金も手助けしました。

2003年8月に、彼は『地球の果てへの旅』というタイトルの彼の最初の本を出版しました。2003年11月30日に、彼の最初の男の子が生まれました。父親として、彼は息子に父親と同じくらい決意があり勇気があるように教えます。2004年5月に、彼は今度は酸素なしでそれを試みて、エベレストに戻った。彼は全くの疲弊のために頂上から450メートル戻った。彼はシンガポールで最初のプロの冒険家と呼ばれています。しかし、彼は単に彼が彼の情熱を追求しているということを人々に単に知らせることが幸せです。彼の強力なメッセージの1つは、「私がエベレストに登れるなら、あなたもできる」です。